



こぶし会ロゴマーク

こぶしの風

第42号

(題字：ヘルパーステーション小川 T・kさん)

発行：令和4年11月20日 発行：社会福祉法人信濃こぶし会 編集：広報誌こぶしの風編集委員会

〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村神稲4026番地1 電話(0265)35-8511 FAX(0265)35-9016 E-mail:kobushi@dia.janis.or.jp URL http://kobushikai.or.jp/

第二こぶし園の新拠点「みずな」



目次

- 「親亡き後の安心」がホームの役割……2P
- パドルダックの避難訓練……2P
- 久しぶりの楽しい時間……3P
- 職場紹介⑧ ユアサポートぽっぽ……4P
- 職員の素顔・編集後記……4P

作／パドルダッククラブ
虎岩 楓さん



手形と足形わかりますか!?

ハロウィン

安心して暮らせる地域をつくるために

「親亡き後の安心」が グループホームの役割

理事長 高本 隆 光

信濃こぶし会では、7箇所目となるグループホームを、豊丘中学校東側に新設する運びとなりました。

今回の建設にあたり、利用者さんから「二階へ上がることが大変」「同じホームの人と上手くいかない」「周りが賑やかすぎる」などの相談が多かったことを踏まえ、住環境や人間関係に対する不安が少しでも和らぎ心安らぐ生活の場となるよう、新しいホーム建設をひとつの契機にしたいと考えました。

信濃こぶし会では、平成15年からホーム運営が始まっています。その当時から「親亡き後も、暮らしてきた地域で暮らし続けられる願い」があります。親亡き後の安心をホームの役割の一つと捉えるとともに、利用者さん本人の望む暮らしに如何に寄り添えるか、支援者に求められる大事な視点と考えます。

ある時、我が家以外での宿泊に抵抗があった利用者さんが、急遽ホームの空室にショートステイで泊まることになりました。渋々だった宿泊の後、「どうだった？」と問うと、彼は一言「良かった！次はいつ泊

まれる？」と気持ちが大きく変化していました。その時の世話人いわく、「普通に接しただけです」と。お客様扱いすることなく、適度な距離感が何とも居心地がよかったかなと理解しました。利用者さんの一人ひとりの「我が家」を目指し、新しいホーム建設を進めて参ります。



10月28日に地鎮祭が行われました

こぶし園 床の張替

こぶし園の園舎は、築25年経過した古い建物で、あちこち改修が必要な箇所が出始めています。まずは今年度と来年度にかけて床の全面張替を行っています。床材については感染症にも対応でき掃除のしやすい材質を選び、階段には滑りにくいものにしました。利用者さんからは「中が明るくなった！」「掃除がしやすい！」「綺麗になってよかった！」と大変好評です。



張替中



張替後

とっても綺麗な床に
さまがわり

パドルダック・アイビス 避難訓練をしました！

9月6日、地震を想定した避難訓練を行いました。ヘルメットや防災頭巾を被り、静かに歩いて駐車場まで避難しました。初めて体験する幼児さんや呼吸器をつけた利用者さんへの対応にも気を配りました。訓練が苦手な利用者さんもパニックになることもなく、皆さんしっかり行動できました。頭では分かっているやってみると思い通りにいかない事もあったので、実際に体験してみても良かったです。

みんな落ち着いて
できました



表紙の説明

新たな生活拠点「きずな」の本格利用が始まりました。第二こぶし園の新拠点です。大所帯になった作業グループを二分し、小集団での穏やかな空間の提供に努めて参ります。

落ち着く場を求め、大小さまざまな部屋を自由にご利用いただいています。





久しぶりの楽しい時間



第二こぶし園 リンゴ狩り

10月8日(土)希望登園の日に気持ちの良い秋晴れの下で、龍江にある桐山農園でリンゴ狩り体験を楽しみました♪

リンゴの取り方を教えて頂き、お気に入りの1個を見つけ手で優しくもぎ取ると、皮をむくのを待ちきれずにそのままかぶりつく利用者さんが続出でした。自分で取ったりんごは甘く、とてもみずみずしくて格別な様子でした。リンゴ狩り体験の後は、リンゴの木の下でハンバーグ弁当を食べました。食後にリンゴジュースも頂き、農園の犬「りんちゃん」と遊んだりと農園内での居心地が良かったのでゆっくり過ごしすぎて、予定していた「そらさんぽ」に行くことができませんでしたが、楽しみにしていた自動販売機でお好みのジュースの購入体験は、予定通りできてみんなの笑顔がたくさん見られた一日になりました。



ゆうハウスこぶし 誕生日会

ゆうハウスこぶしでは、9～11月の誕生日会を行いました。誕生日の利用者さんに前もって何が食べたいか聞いたところ、「なにがいいかな?普段食べられないものもいいな。」と話し合っていました。その結果、今回はたこ焼きとケーキを食べることに



みんなでハッピーバースデーの歌を歌ったり「何歳になったの?」などと会話を楽しみお祝いしました。



誕生日の利用者さんは照れながら「ありがとう」と嬉しそうな表情でした。

平日の夕食時と言うこともあり、ささやかではありましたが、美味しい食事とみんなの笑顔で楽しい誕生日会になりました。

ユアサポートぽっぽ

ぽっぽあーと展「書」ではなそう2022

今年度も飯田市美術博物館市民ギャラリーにて“ぽっぽあーと展「書」ではなそう2022”を10月25～30日に開催しました。多くの皆様が足を運んでくださり、作品のあたたかさに触れていたただたのではないかと感じます。

今年も力強い作品、くすっと笑ってしまう作品、見ていると絵に見えてくる作品など、1つひとつ味わいのあるものとなりました。



書の他にも利用者さん、スタッフで力を合わせて作り上げた「折り紙あーと」は特に目を引く作品となりました。

来場してくださった方から、「見に来てよかった」「あの作品がいいね」「おもしろい」などと言ってもらえ、とてもうれしい気持ちでした。改めて、利用者さんの作品の

パワーのすごさを感じました。

ぽっぽに
沖縄獅子が来た!

沖縄エイサー隊現れる!

コロナ禍で我慢の連続の利用者さん楽しんでもらおうとスタッフ有志で「しまんちゅの宝」を踊りました。派手な琉球衣装とパーラック(太鼓)で沖縄に行った気分を味わいました。篠笛の



「もののけ姫」では、かわいいアマビエも登場し、癒してくれました。みんなで「おさるのかごや」を植木鉢で作った太鼓で打ち鳴らしました。太

鼓が好きな利用者さんは、何度もトントン叩いていました。最後に大きな沖縄獅子が登場。みんなの無病息災を願い、大きな口で頭を噛んでもらい笑顔あふれる時間となりました。

グース ハロウィン

10月26日グースでは少し早めのハロウィンイベントをしました。ハロウィン用の様々なプチ仮装を夢中になって色々試して、みんなとてもステキな姿に大変身♡仮装姿で二階事務所とぽっぽの2ヶ所へ訪問しました。「なんて言うんだっけ?」「言うのが恥ずかしい」と言いながらもスタッフの『セーの』の掛け声に合わせて『トリック オア トリート』お菓子をくれなきゃイタズラしちゃうぞ』と言って、嬉しそうにお菓子を頂いて帰って来ました。秋晴れの日楽しいひと時でした。





生活介護 ユアサポートぽっぽ

ユアサポートぽっぽは、平成16年6月に開所し、平成29年4月に今の場所へ新築移転しました。

ぽっぽは、喬木村の棕鳩十が名前の由来で、みんなが楽しめるような余暇活動を行ったり、箱折りの作業やPOCO製品の生産活動を行っています。他にも、ぽ



毎日楽しく生活しています



っぽには小さな畑があり、そこに季節の野菜の種をまいて育てています。収穫した野菜を、昼食やおやつの時に調理して食べるのも楽しみの一つです。

最近では、創作や行事に力を入れています。みんなで協力して大きな作品を作ったり、すみあそびで字や絵を描いて作品を「ぽっぽあーと展」でたくさんの人に見てもらったりしています。四季折々の恒例行事やお祭りなど、みんなが楽しめて自然と笑顔になれるような雰囲気作りを心掛けています。



ヘルパーステーション小川

木下 美 貴 (事務担当)



平成19年から、信濃こぶし会にお世話になり、今はヘルパーステーション小川で事務を担当しています。豊丘村の山田という地区に、家族6人と、うさぎとカメ2匹と暮らしています。家からは飯田方面まで見渡せて夜景がとても綺麗です。私の趣味は韓国ドラマを観ることです。推しが出ているドラマや様々なドラマを観ています。韓国の食べ物や音楽も好きでBTSのライブにも2回行きました。いつかまた自由に旅行に行けるようになったら韓国に行きたいです。



ヘルパーステーション小川

田中 美 幸 (事務担当)



ヘルパーステーション小川、グース、パドル、アイビスの事務を担当しています。

普段は支援センターの2階にいますが、時々支援にも入らせていただいています。デスクワークとは違い、利用者さんと過ごす時間はとても楽しく、貴重な時間となっています。最近では家にいる時間が増え、何か楽しみを見つけようと思い、狭い庭に色々な花を植えています。花いっぱい庭を想像しながら、春を楽しみに待ちたいと思います♪

編集後記



私ごとならぬ第二こぶし園ごとです。今、第二こぶし園の玄関に『手作りハロウィンかぼちゃ』が楽しそうに仲良く並んでいます。一言で手作りといっても、このかぼちゃは第二こぶし園の畑作業で種から育てたかぼちゃです。立派に育ったかぼちゃを多目的の時間を利用してハロウィン風に加工した、利用者さんと職員が半年かけた努力の結晶!! 正真正銘『手作りハロウィンかぼちゃ』なのです。育てる喜び・収穫の喜び・制作の喜び・鑑賞の喜びetc. 沢山の喜びや楽しみを体験させてくれました。長引くコロナ禍…何もできないで終わらせないようにできる事をみつけて安全にできる工夫をすれば、それなりに楽しめるんだとかぼちゃに教えてもらいました🎃🎃

(第二こぶし園：市瀬尚子)